

令和4年（2022年）度開講

『演習Ⅰ』（ゼミ）

募集要項

対象：経済学部2年生



※演習Ⅰに関するお知らせは大学HP上でも確認して下さい。

國學院大學 経済学部 教務委員会

INDEX

②	選考方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
②	選考スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・	4
③	ゼミナールに入ろう・・・・・・・・・・・・・・・・	5
③	演習別コース選択一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	11
④	選考方法一覧（3次選考受付ゼミ）・・・・・・・・	12
⑦	教員の連絡先一覧（3次選考受付ゼミ）・・・・・・・・	15
⑧	募集ゼミ内容紹介（3次選考受付ゼミ）・・・・・・・・	16

① 選考方法

本年度は例年以上に応募書類を簡素化しています。

応募に必要な内容は次の3点です

② 自己紹介（K-SMAPY II のアンケート機能に記載）

② 志望理由（全角 400 字以内）

③ 教員任意課題（課題がない演習もあります）

* 指定された演習の②「志望理由」（全角 400 字以内）と③「教員任意課題」を作成し、教員に直接提出してください。

* K-SMAPY II での応募時点で必要な書類は、①のみになります。

今回の選考方法は以下の通りです。

3 次選考（あらたに募集を行い、第 1 希望から第 3 希望いずれかの演習*の選考）

【注 1】3 次選考の「いずれかの演習」は、各演習の受入れ残り人数と応募者数をみて、経済学部で調整・指定します。

3 次選考について

- ・ 第 1 希望から第 3 希望まで選択。
- ・ 応募者の偏りを小さくするよう、第 1 希望から第 3 希望のなかで調整（マッチング）します（GPA と修得単位数を参考にします）

教員が指定する学科・コース

・各ゼミで受け入れる教員により、受け入れる学科やコースが指定されています。経済学科のみのコースを指定している演習には、経営学科の学生は応募できません。また、経営学科のコースのみを指定している演習には、経済学科の学生は応募できません。

注1) ゼミに合格した後に、教員が指定(○)するコースのうちどれか1つを選択することになります。

注2) K-ENT 研究発表型入試にともなって入学時にコースが設定されている学生は、第1次募集では原則として設定コースを受け入れている教員の演習Ⅰに応募するものとしますが、自分の研究内容との関係で志望する演習Ⅰが地域コース／クリエイターコース受け入れ不可の場合は、この限りではありません。

② 選考スケジュール

★三次選考スケジュール★

- 告知（受け入れ可能なゼミ・二次で締め切ったゼミ） **7月4日（月）**
- 応募期間 **7月4日（月）～7月8日（金）正午締切**
(K-SMAPYⅡのアンケート機能より応募)
- 演習の指定（大学からの連絡） **7月12日(火)**
- 選考期間 **7月18日(月)～7月23日(土)**
- 合格発表 **7月26日（火）** K-SMAPYⅡにて発表（20:00 発表予定）

③ ゼミナールに入ろう

経済学部 教務部委員

大西 祥恵

この募集要項では各ゼミの活動内容や特徴を紹介します。きっと皆さんが学びたい分野のゼミが見つかると思います。みなさんがこの要項を熟読のうえ、自分に最もマッチしたゼミについてよく研究し、ひとりでも多くの学生が応募・合格してくれることを期待しています。

(1) ゼミとは？

ゼミナール（ゼミ）は大学で専門的に学んでいく上で、また自分にあった学修を行う上で、講義とは異なる少人数かつ双方向の教育が受けられる演習形式の授業であり、重要かつ貴重な学びの機会です。また、学生同士だけでなく学生と教員がコミュニケーションを取りながら一緒に作り上げる最も大学らしい場所です。私たちはひとりでも多くの学生に自分に相応しいゼミに入り、ゼミの仲間や教員と大いに議論・討論してほしいと切に願います。自分の意見や考えを発表したり、多様な意見や価値観を聴いたり討論することはみなさんの学びをより深いものとし、就職活動（面接だけでなく集団討論のときも）やその後の職業生活にも大いに役立つことでしょう。みなさんが積極的かつ意欲的にゼミに応募することを期待しています。

後述するように、ゼミの開講パターンや開講時期、学生数や活動内容は様々ですが、一般的にゼミの特徴は次のように説明できます。

- ① 講義形式ではなく、**学生と教員が話し合いながら一緒になって内容をつくりあげる少人数の演習系科目（専門応用科目）**です。ゼミによって一学年の人数が**10～20**人とまちまちですし、他学年と合同で実施するゼミと学年ごと実施するゼミがあります。
- ② ゼミの内容は各ゼミによって異なりますが、主な内容としては、(1)テキストを決めレジュメを作成して分担報告しながら精読する輪読、(2)学外のビジネスコンテストなど各種コンテストへの参加・発表、(3)テーマを決め、個人あるいはグループで研究する論文作成、(4)グループディスカッションやプレゼンテーション、(5)ディベート大会、(6)サマーセッションやスプリングセッションの合宿、(7)ゼミ成果発表会や合同ゼミなど学部ゼミ間の交流、(8)新歓・暑気払い・忘年会などのコンパ、(9)工場見学や企業見学、(10)OB・OG会などがあります。ゼミによって多彩ですので興味のあるゼミの活動をよく調べてください。
- ③ 講義科目とは異なって、ゼミでは学生同士および学生と教員の間での双方向のコミュニケーションが広く深く行われます。
- ④ ゼミに入るためには、ゼミ毎に行われる選考で合格しなければなりません。合格すれば「演習Ⅰ」からゼミに所属することになります（3年次4月募集のゼミを除く）。ただし、**一度希望するゼミに合格したら、合格を辞退したり、別のゼミに応募し直したり、ゼミを変更することはできません。**（例えば、ゼミ応募に合格して2年生後期からゼミ（演習Ⅰ）を履修した場合、3年4月募集で応募しているゼミに入り直したいと思っても、「演習Ⅰ」の単位が取得された限り、他の演習に応募したり入り直したりすることはできません。）

(2) 開講形態

ゼミは2年後期からはじまります。原則、すべてのゼミが卒業までに、以下に挙げる5つの科目が開講されます。

- ①「演習Ⅰ」(2年次後期)
- ②「演習ⅡA」(3年次前期)
- ③「演習ⅡB」(3年次後期)
- ④「演習Ⅲ(卒業論文)A」(4年次前期)
- ⑤「演習Ⅲ(卒業論文)B」(4年次後期)

卒業要件に含まれる単位数は、すべてのゼミで「10単位」となります(これ以上の単位は卒業要件の単位には含まれません)。

また、すべてのゼミで「卒業論文が必修」です。

また、ゼミによって、上記の科目とセットで開講されるサマーセミナー、スプリングセミナーがあります。サマーセッション、スプリングセッションの開催有無については、それぞれのゼミの紹介ページの冒頭部分に明記されています。

なお、上記科目は自動登録されます。学生の都合で登録を取り消すことはできず、合宿に参加しなかったりゼミ論文を提出しなかったりした場合はDまたはRの評価となります。

通常	演習Ⅰ	演習ⅡA	演習ⅡB	演習Ⅲ (卒業論文) A	演習Ⅲ (卒業論文) B
開講時期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
単位	2	2	2	2	2

(3) ゼミの選び方

ゼミによって活動内容や開講形態は様々ですから、ゼミの課題や学習内容、ゼミ(先生)とのかかわり方、つきあい方も変わってきます。各ゼミの内容や特徴をよく理解し、自分にあったゼミを選ぶことが大切です。その際、次の点を考慮しましょう。

- ① 自分の勉強したい「テーマ/分野（興味・関心）」に合致しているか考えましょう。ゼミのテーマ、教員の専攻/研究分野が自分にあっているかどうかは最も大切なことです。
- ② ゼミの活動内容をできる限り詳しく知って選びましょう。公開ゼミやブース相談会を積極的に活用しましょう。
- ③ 前述したように、サマーセッション、スプリングセッションを行うゼミや行わないゼミがありますので、この点も考慮してください。
- ④ 担当教員とのコミュニケーションは、大学で学ぶ上でも学生生活や将来を考える上でも、みなさんにとって貴重な機会となるでしょう。2年半の間、一緒に勉強する教員についてもできる限り情報を集め、ゼミ選考の参考にしましょう。教員については、國學院大學 HP の経済学部サイトに「専任教員の紹介」でも知ることができます。

(4) 応募にあたっての注意

- ① みなさんがゼミに応募できるのは2年次の5月～7月の募集期間です（3年次4月開講のゼミを除く）。この間に1次、2次、3次と計3回の選考が実施されます。ただし、**2次選考から、募集するゼミが限定されるので注意してください**。1次選考から積極的に応募するようにしましょう。
- ② **各ゼミで受け入れる学科・コースが指定**されています。多くのゼミが経済学科、経営学科どちらの学生も受け入れが可能となっていますが、経済学科の学生のみ、経営学科の学生のみという演習も少数ですが有りますので注意してください。
- ③ 各ゼミで「**修得済み科目**」、「**履修しておくことが望ましい科目**」が記載されています。「修得済み科目」は経済学部の必修科目・義務履修科目で、ほぼすべてのゼミが4科目（日本の経済、基礎演習 A、基礎演習 B、コンピュータと情報）の単位を取っていることが応募の条件になっています。「履修しておくことが望ましい科目」はこれまでに履修したことがある、または前期で履修していることが望ましい科目です。
- ④ 3年次の4月初旬にもゼミの募集・選考があり、「演習Ⅰ」を履修していない学生は応募できますが、ごくわずかなゼミしか募集しません（新しく着任する先生、派遣研究から戻る先生、追加募集を行う先生のゼミなど）。ですから、第1次募集から積極的に応募するようにしましょう。
- ⑤ **ゼミの選抜に合格した後で、合格を辞退することはできません**。1つのゼミに合格すると、他のゼミの2次選考に応募できませんので、よく考えて応募しましょう。
- ⑥ 合格した時点で「演習Ⅰ」（サマーセミナー、スプリングセミナーを開講するゼミについてはそれらの科目も含む）が**自動的に履修登録**されます。ゼミの合格を放棄してもこの時間には他の科目を履修することができません。また、**2年次の履修単位制限（42単位）にも含まれます**ので注意しましょう。

(5) その他

令和5年度4月から着任する（もしくは派遣研究から戻る）教員がいる場合、令和5年4月にもゼミ募集がある可能性があります。しかしながら、現時点でどのゼミが開講するかは未定です。「演習Ⅰ」で単位が取得できた学生は応募することができません。募集がある場合には改めてホームページ上でお知らせします（令和5年3月上旬～中旬を予定）。

【一括登録の注意点】

ゼミは合格すると演習Ⅰ以降の全ての演習科目が開講パターンに応じて一括登録（サマーセミナー、スプリングセミナーも含む）されます。演習Ⅰの単位を修得し、演習Ⅱ以降の履修を取り消そうとしても演習Ⅰの合格時に全ての演習科目が登録済みです。履修修正でも取り消せません。年次履修上限の 42 単位に含まれてしまいます。そのため、演習Ⅱの時間帯に他の科目を履修することもできません。なお、成績評価で不合格（D または R）である場合、以降については、以降の科目の自動登録が消去されます。

(6) よくある質問Q&A

■2 年次の“留年”に関して

Q：2 年次に進級制限のため留年してしまいました。ゼミの扱いはどうなりますか。

A：①1 回目の 2 年次に演習Ⅰの単位を修得しなかった（履修しなかった）場合、2 回目の 2 年次に、もう一度、演習Ⅰの 1 次募集から応募できます。

②1 回目の 2 年次に演習Ⅰの単位を修得した場合、3 年次の演習ⅡA（4 月募集）に応募することができます。

■2 年次前期からの“留学”について

Q：2 年前期から（半年間または 1 年間）留学したいのですが、「演習Ⅰ」に応募できますか。

A：応募できません。（ただし、以下 A) B) C) の条件すべてを満たした場合は応募できます。）

A)「演習Ⅰ」が開講される後期には留学先から戻っており、出席できること。

B)期日（前年度の 3 月 31 日）までに所定の書類を経済学部教務委員会に申請し、経済学部教務委員会が「留学」を認めたものであること。

C)ゼミ応募条件の課題とは別に、面接に相当するレポートを経済学部資料室経由でゼミ指導教員に提出すること。

※経済学部資料室（若木タワー9 階）に所定の書類を取りに行き、手続きの仕方を確認してください。

※なお、2 年次に 1 年間留学すると 3 年に進級できないため、翌年に「演習Ⅰ」の応募をすることになります。

■2 年次後期からの“留学”について

Q：2 年後期から休学して（半年間または 1 年間）留学したいのですが、2 年前期の選考で合格したあとで後期に留学し、3 年次の演習Ⅱからゼミに入れますか。

A：入ることはできません。

理由) 休学しても 2 年前期に在学すれば 3 年に進級し、復学後は演習Ⅰが履修できないためです。

（ただし、以下の例外に該当する場合は、今回応募してください。）

例外) 2 年後期に半期の「協定留学」（セメスター留学）に行くことが決定している場合とそれ以外の留学のうち経済学部教務委員会が「留学」と認めた場合は、今回の選考を受けて合格すれば、例外的に 3 年次 4 月に開講する「演習Ⅱ」から履修できます。その際は、必ず所定の書類を選考結果が判明してから 3 日以内に経済学部教務委員会に申請する必要があります。さらに、「演習ⅡA」授業開始時までには留学先から戻っていなければ

ばなりません。

※経済資料室（若木タワー9 階）に、所定の書類を取りに行き、手続きの仕方を確認してください。なお、今回の第 1 次募集期間内に希望するゼミの先生に相談しておくことを推奨します。

※なお、休学の手続きをしないで留学した際は、学年を問わず「演習」を継続することはできず、4 年次後期の「卒業レポート演習」を履修することになります

■3 年次からの“留学”について

Q：3 年前期から 1 年間休学して留学する場合、「演習ⅡA・B」を履修できますか。

A：復学した 3 年次前期から所属していたゼミの「演習ⅡA」が自動登録されます。

Q：3 年次の前期もしくは後期に休学して（半年間または 1 年間）留学したいのですが、3 年次の「演習ⅡA」「演習ⅡB」の扱いはどのようになりますか。また、4 年次の演習を続ける（履修する）ことはできますか。

A：3 年次の後期に半年間、協定校などにセメスター留学する場合は、「履修保留」制度*を使い、演習を継続して履修することができます。

ただし、3 年次後期の場合は 6 月 30 日まで、4 年次前期の場合は 3 月 31 日までに所定の書類を経済学部教務委員会に申請し、経済学部教務委員会が「留学」と認めた場合と「協定留学（3 年後期に行くセメスター留学等）」の場合は、履修保留制度を用いて、4 年次に履修を再開することができます。なお、「演習Ⅲ（卒業論文）A」「演習Ⅲ（卒業論文）B」の授業開始時までには留学先から戻っていなければなりません。

※経済資料室（若木タワー9 階）に、所定の書類を取りに行き、手続きの仕方を確認してください。

*「履修保留」制度とは「演習ⅡB」もしくは「演習Ⅲ（卒業論文）A」の履修を保留できる制度です。保留した履修科目は、4 年次後期に履修を再開することができます。つまり、3 年次の後期にセメスター留学に行くために「演習ⅡB」を「履修保留」した場合、4 年次の後期に「演習ⅡB」の履修を再開できます。また、4 年次前期に留学した場合、「演習Ⅲ（卒業論文）A」と「演習Ⅲ（卒業論文）B」を 4 年次後期に平行して履修することになります。ただし、教務委員と指導教員の下承が得られた場合に限りです。なお、「演習ⅡA・B」の単位を修得できなかった場合は「演習Ⅲ（卒業論文）A・B」の単位も修得できません。

Q：4 年前期から 1 年間休学して留学する場合、「演習Ⅲ（卒業論文）A・B」を履修できますか。

A：復学した 4 年次前期から所属していたゼミの「演習Ⅲ（卒業論文）A」が自動登録されます。

※なお、休学の手続きをしないで留学した際は、学年を問わず「演習」を継続することはできず、4 年次後期の「卒業レポート演習」を履修することになります

■編入生、転部生、再入学生のゼミ応募について

Q：編入（転部、再入学）により3年生になりますが、ゼミに応募できますか。

A：3年時の受入れを認めているゼミに応募できます。

■その他

Q：2年次の演習Ⅰに合格して単位を修得しましたが、演習Ⅱから他のゼミに移籍したいのですが、移籍できますか。

A：移籍できません。

Q：一度落選したゼミに2次選考で応募することはできますか。

A：応募可能ですが、合格実績はほとんどありません。

Q：ゼミ応募の際、課題は提出したのですがK-SMAPYⅡでの登録を忘れました。応募は認められますか。

A：認められません。

以上について、不明な点や質問等があれば、経済学部教務委員会（keizaigakubu.kyoumu【at】gmail.com）まで連絡して下さい（【at】は@に代えてください）

⑤ 演習別「コース選択」一覧

	経済学科					経営学科			指定
	経済理論 とデータ 分析コー ス	経 済 史 コース	地域経済 コース	日本経済 コース	グローバ ル 経 済 コース	ビジネス リーダー コース	ビジネス クリエイ ターコー ス	ビジネス アナリス トコース	なし
小木曾道夫	○						○	○	
尾近裕幸									○
尾田基	○						○	○	
金子良太			○			○		○	
高木康順	○			○				○	
高橋克秀									○
野村一夫									○
橋元秀一			○	○		○			
細井長					○	○			
細谷圭	○			○				○	
山本健太			○	○		○			

⑤ 選考方法一覧			
教員名	面接の有無	提出課題詳細	提出方法
小木曾 道夫	面接（あり） ※ありの際は教員より個別連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）※ogiso@kokugakuin.ac.jp 宛てメールの本文で提出 課題内容：小木曾担当の 3 年前期「演習ⅡA」を履修した場合の研究テーマ案を全角 16 字以内で書く。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) のみ
尾近 裕幸	面接（あり）※ありの際は教員より個別連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）※面接時に提出 課題内容：以下の 2 つです。 <1>1 年次の成績表の写し。GPA と履修科目を確認します。 <2>次の 2 つの論文を熟読し、考えたことを 400 字程度で説明してください。氏名・学籍番号・連絡用メールアドレスを明記してください。 楠木建「大学での知的トレーニングアタマがナマっている人へのメッセージ」 青島矢一「『社会科学を学ぶことがどうして将来役立つのか』について考えたこと」 いずれの論文も検索エンジンで著者と論文名で検索するとダウンロード先が見つかります。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) のみ
尾田 基	面接（なし）※ただし、一部学生のみ実施の可能性あり。教員より個別連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）どのようなテーマや問いを卒論でやってみたいか、現時点の構想を 400-1000 字以内で記入してください。（Word ファイル） 採用されたゼミ生の（1）、（2）、（3）の内容は、相互に公開する予定です。そのつもりで書いてください。（3）のファイルと成績表（総取得単位と 1 年次の累積 GPA のわかる PDF ないしキャプチャ画像）を添付し、 hoda@kokugakuin.ac.jp に、選考開始日の前日 22 時までに送ってください。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) のみ (3) はメール送信

金子 良太	面接（あり）※ ありの際は教員 より個別連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）※面接時に提出 課題内容：（1）日商簿記検定の合格証書のコピーを面談時に提出してください（合格歴がない方は不要）（2）1 年次の GPA を証明できる書類のコピーを面談時に提出してください（3）「政策起業家」（駒崎弘樹著、ちくま新書、2022 年発行）を読み、その内容で特に印象に残った点を中心に 1200 字以上でまとめなさい。（1 年次 GPA3.3 以上かつ日商簿記検定 3 級以上の合格者の方は（3）の課題は不要です）	K-SMAPY II 「アンケート機能」 （1）のみ
高木 康順	面接（あり）※ Zoom 利用予定）※ありの際は 教員より個別 連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）※面接時に提示 課題内容：統計入門で提出した課題グラフを 1 つ選び、面接時に Excel を共有して、課題のデータ出所・手法・グラフから読み取れることについて説明する。統計入門未履修者は『日本の経済』第 5 章図 5.3 を作製して使用する。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 （1）のみ
高橋 克秀	面接（あり・なし）※ありの際は 教員より個別 連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり） 課題内容：次の本の第 1 章を読み、要点を 800 字程度にまとめてください。『データ分析の力 因果関係に迫る思考法』（伊藤公一郎著、光文社新書）。これを 7 月 18 日（月）～7 月 23 日（土）にメールで送ってください。taka8664@kokugakuin.ac.jp	K-SMAPY II 「アンケート機能」 （1）のみ
野村 一夫	面接（あり）※ ありの際は教員 より個別連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）「フェムテックと女子経済」というテーマから、あなたは何を連想しますか。Word で 1 枚程度で書いて面接時に持参して説明して下さい。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 （1）のみ
橋元 秀一	面接（あり）※ ありの際は教員 より個別連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）※面接前日までにメールで提出 課題内容：自分がゼミで学びたいこと、あるいは興味・関心のある問題やテーマについて、200 字程度で説明しなさい。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 （1）のみ
細井 長	面接（あり）※ ありの際は教員 より個別連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）※事前にメールで提出 課題内容：ゼミ紹介の本文に詳細を書いています	K-SMAPY II 「アンケート機能」 （1）のみ

細谷 圭	面接（あり）※ ありの際は教員 より個別連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）※面接時 課題内容：面接の際に、 ゼミテーマに関する書籍 を一冊持参し、内容を私に教えてください。難易不問、ボリューム不問、新書でも構いません。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) のみ
山本 健太	面接（なし）※ ありの際は教員 より個別連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）※面接時に提出 課題内容：実家のある地域の名物や有名な祭りなどを 1 つ取り上げ、それがなぜその地域で起こり、発展してきたのか、地域の気象条件や地形、歴史的過程など、関連する様々な観点を交えて理由を説明せよ。引用文献のあるものは、引用箇所がわかるようにし、引用文献リストを付すこと。参考文献リストを付す必要はない。提出されたレポートについて、論理展開、地理的思考力、レポート作成のルール等、総合的に判断をする。教員任意課題は、教員にメールにて提出。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) のみ

【注意点】

※1 〆切りを過ぎたものは一切受理しないので注意すること。

※2 教員により（3）の任意課題が異なるのでよく確認すること。

※3 必ず K-SMAPY II の「アンケート」で自己紹介の記入、希望のゼミを登録をして下さい。任意課題のみを提出しても無効となります。

⑥ 教員の連絡先一覧（３次選考受付ゼミ）

教員名	メールアドレス	備考
小木曾 道夫	ogiso__at__kokugakuin.ac.jp	
尾近 裕幸	okon__at__kokugakuin.ac.jp	
尾田 基	hoda__at__kokugakuin.ac.jp	
金子 良太	rkaneko__at__kokugakuin.ac.jp	
高木 康順	takagi__at__kokugakuin.ac.jp	
高橋 克秀	taka8664__at__kokugakuin.ac.jp	
野村 一夫	R707FF__at__kokugakuin.ac.jp	
橋元 秀一	hsyu__at__kokugakuin.ac.jp	
細井 長	hosonaga__at__kokugakuin.ac.jp	
細谷 圭	khosoya__at__kokugakuin.ac.jp	
山本 健太	kenta__at__kokugakuin.ac.jp	

※__at__は「@」に置き換えてください。

※教員にメールを送る際は、大学の@kokugakuin.ac.jpのメールアドレスから送るか、またはメールの件名を明確に記載してください。

⑦ 募集ゼミ内容紹介

先生方にゼミのご紹介をしていただくにあたって、以下の質問項目について伺いました。

(※該当する項目のみ、回答していただいております。)

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	

- (1) テーマ
- (2) キーワード
- (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)
- (4) 演習Ⅳ以外で論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など)
- (5) 先輩たちの主な就職先と傾向
- (6) 教員について(自己紹介等)
- (7) その他

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
—	—	—	—	—

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	—	—
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	—	—

3 年（男）	3 人	3 年（女）	3 人	4 年（男）	0 人	4 年（女）	0 人
--------	-----	--------	-----	--------	-----	--------	-----

(1) テーマ

組織と集合行動の自己生産

(2) キーワード

組織、集合行動、自己生産

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2年後期の「演習Ⅰ」では、バーナード著 山本安次郎・田杉競・飯野春樹訳(1968)『新訳 経営者の役割』ダイヤモンド社、の、のちの組織研究に影響を与えた部分を選んでの精読する文献購読演習を行う。つまり、「演習Ⅰ」と言っても現行のカリキュラムには無い「基礎演習 C」のような内容である。「演習Ⅰ」の到達目標は文献購読報告ができ、文献購読レポートが書けるようになること。単位修得の要件には、報告およびレポートで他者が著作権を持つ文字列を引用できること、報告およびレポートの巻末の参考文献リストで、1.著作権者・2.刊行年・3.書名・4.出版社を正確に記述できることを含む。

3年の「演習ⅡA・B」と4年の「演習ⅢA・B」では各自研究テーマを決めて、研究課題は、(外部の組織から受動的に与えられるのではなく、)ゲーム以外のテーマから受講者が自ら能動的に決定して、研究演習を行う。「演習ⅡA・B」の到達目標は研究報告ができ研究論文が書けるようになることで、「演習ⅢA・B」の到達目標は、社会科学の研究論文が書けるようになること。単位修得の要件には、報告およびレポートの巻末の参考文献リストで、1.著作権者・2.刊行 or 更新年(月日)・3.書名 or タイトル・4.出版社 or URL を正確に記述できること、および、報告およびレポートで、5.自分の意見や考え・または・著作権者を特定できない情報と、他者が著作権を持つ情報とを区別し、6.他者が著作権を持つ情報の出典を引用または参照という方法で巻末の参考文献リストと照合して明記すること、を含む。

(4) 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

「演習Ⅰ」では学期末締切で字数自由の文献購読レポート

「演習ⅡA・B」と「演習ⅢA」では学期末締切の研究レポートを課し、字数のペース配分目標は「演習ⅡA」が4000字、「演習ⅡB」が8000字とする。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

業種の傾向はありません。過去、北関東地域の実家から通勤可能な勤務地限定の職掌への就職希望者は100%就職が決まっています。

(6) 教員について(自己紹介等)

2020年度は国内派遣だったため、2021年度で4年のゼミ生はいません。

[教員について](http://www2.kokugakuin.ac.jp/~ogiso/index.html)

小木曾はゲームについて無知であるため、ゲームを研究テーマとしたい学生に対して、十分な論文指導ができません。

(7) その他

小木曾ゼミは、研究成果であるゼミ卒業論文の質を分子、(ともに実施しないゼミ合宿とサブゼミを含む)拘束時間を分母とする、研究成果労働生産性が高いゼミです。過去の4年生のゼミ卒業論文・ゼミ論などは[ゼミ HP](http://www2.kokugakuin.ac.jp/ogi1/index.html)を参照してください。

尾近 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	ミクロ経済学	マクロ経済学
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	経済理論入門	経済経営数学

3 年（男）	3 人	3 年（女）	0 人	4 年（男）	5 人	4 年（女）	0 人
--------	-----	--------	-----	--------	-----	--------	-----

(1) テーマ

経済・経営問題の分析手法としてのマルチエージェント・シミュレーション技法とミクロ経済学を学び研究する——
NetLogo & ミクロ経済学の学習と研究論文の作成--（シラバスを参照してください）

「NetLogo」はマルチエージェント・シミュレーションのためのプラットフォーム（アプリケーション）で、無償でダウンロードできます（ダウンロードの仕方から指導します）。

上記に加えて汎用のプログラミング言語の Python と統計学の基本を学び、Python を使って、NetLogo モデルのシミュレーションからアウトプットされるデータの統計分析を行います。昨年度は Python のオンライン・プログラミングコンテストに何回も参加しました。

また、NetLogo モデルのコードをゼミ生全員で協力しながら作成しますので、プログラムのコードの変更履歴（変更差分）記録する分散型バージョン管理システムである Git と GitHub を使えるように勉強します。

本年度は「できるだけアウトプットをする」ことを目標に、リポート・リサーチペーパー・研究ノート・研究論文の作成に向けた指導をします。まずは「具体的な研究・研究課題」の発見と設定、それを研究活動を支える知識・技法の習得を支援します。

習得する知識・技法は、これからの社会での仕事に役立つものばかりです。今よりも少し先の近未来で必要になるスキルと知識の習得を目指します。

(2) キーワード

ミクロ経済学、マルチエージェント・シミュレーション、NetLogo, Python, 統計学, データサイエンス, Git, GitHub

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

ゼミでは、基本的に以下の 2 つの文献をテキストにしてマルチエージェント・シミュレーション技法と、それを用いた経済分析の手法を学びます。詳しくはシラバスを参照してください。英文ですが解説しながら進めるので、努力する気持ちがあれば、英語に自信がなくても大丈夫です。これ以外の勉強にも積極的に取り組みます。

* Steven F. Railsback and Volker Grim, *Agent-Based and Individual-Based Modeling: A Practical Introduction*, second edition, Princeton and Oxford: Princeton University Press, 2019. (書名和訳 : エージェント・ベースのモデル分析入門)

- Lynne Hamill and Nigel Gilbert, *Agent-Based Modeling in Economics*, Wiley, 2016.
(書名和訳 : エージェント・ベース・モデルを使った経済分析入門)

また、Python と統計学の学習 (独習) には以下の文献をテキストにします。

- コーリー・アルソフ 『独学プログラマー -Python 言語の基本から仕事のやり方まで』 日経 BP 社, 2018 年。
- 小島寛之 『完全独習 統計学入門』 ダイヤモンド社、2006 年。

今年度の合宿は未定ですが、状況が好転すれば 3 年生と 4 年生の合同合宿を実施して、NetLogo に使った研究や Python を使ったプログラミング・コンテスト出場の準備、統計学・R・ゲーム理論の学習をしたいと考えています。

なお、2 年生、3 年生、4 年生は、それぞれ夏休み期間中に 2 日間、冬休み中に 1 日間、春休み中に 2 日間の集中勉強会 (渋谷キャンパス) を実施します。

なお昨年度は以下の活動・集中勉強会を行いました。

(1) 国内外で開催される経済学・経営学に関する多数のセミナーをゼミ生に紹介し、聴講してもらっています

(2) AtCoder 主催の競技プログラミング・コンテストにほぼ毎週、全部で 20 回以上参加しました。
<https://atcoder.jp>

(3) 無料で学べるオンライン講座 gacco で以下の講座をゼミ生全員が受講しました。
<https://gacco.org>

- ・はじめての AI
- ・大学生のためのデータサイエンス (I)
- ・大学生のためのデータサイエンス (II) 機械学習
- ・大学生のためのデータサイエンス (III) 問題解決
- ・新年度は 4 月から「統計学 I」を、5 月から「機械学習」あるいは「社会人のためのデータサイエンス」のいずれかを受講して勉強を続けています。

(4) 以下の 2 つのテキストで「ゲーム理論」の基礎を学びました。

- ・鎌田雄一郎 『16 歳からはじめてのゲーム理論』 ダイヤモンド社
- ・神取道宏 『ミクロ経済学の力』第 II 部 日本評論社

(4) 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細 (枚数や時期など)

3 年次・4 年次にリサーチ・ペーパー (研究論文) を作成します。

3 年次のリサーチ・ペーパーは、研究の仕方からペーパーの書き方までを指導します。

4 年次のリサーチ・ペーパーは、研究テーマの設定からペーパーの完成までを指導します。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

就職先に関しては業種に偏りはありません。概ね東証上場企業に就職しています。

(6) 教員について(自己紹介等)

専門分野：オーストリア学派経済学

Editorial Advisory Board of _Quarterly Journal of Austrian Economics_

Associate Editor of _The Review of Austrian Economics_

國學院大學着任：1998（平成 10）年 4 月 1 日

担当教科：経済理論入門、ミクロ経済学、基礎演習 A、基礎演習 B、演習 1、演習 2、演習 3

TOEIC L&R 880（毎年受験しています。）

AtCoder Rating 最高値 118-11 級（ほぼ毎週コンテストに参加しています。）

(7) メッセージ

「ミクロ経済学」や「マルチエージェント・シミュレーション」と聞くと、「とても敷居が高い」と感じるかもしれませんが、実際は楽しく、「様々な研究や、卒業後の仕事に役立つ」知識・技法です。

礼儀正しく、快活明朗で、自分自身を成長させたいと本気で考えている学生だけを希望します。

尾田基 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定 → 全部なし

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A		
コンピュータと情報 I	基礎演習 B		

3 年 (男)	10 人	3 年 (女)	10 人	4 年 (男)	5 人	4 年 (女)	3 人
---------	------	---------	------	---------	-----	---------	-----

1 つ上の代は、2 年次時点で 15 名、3 年次編入生含めて 20 名おりますが、本年度の採用者数はそれよりも少なくなる予定です。学部内ルールに従い、2 次募集・3 次募集まで募集を開けますが、各回の採用者数は少ないと思います。

(1) テーマ

企業や業界の調査・分析・戦略提案（特に、公開情報の収集と分析方法について）

(2) キーワード

経営戦略論 調査法 企業分析 業界分析 因果関係 研究方法 製造直販業 業態開発
プラットフォーム・ビジネス 広報 PR 作文 編集

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2 年次はユニクロの創業者、柳井正の著作をとりあげ、マーケティング分析や財務諸表分析、他企業との戦略比較等を行います。比較的最小限の知識にとどめて身近な企業ではありますが、大ヒットしたのは皆さんが生まれる前のことであり、ユニクロがどのように成長してきたのかについては知らない部分が多いかもしれません。歴史的経緯の確認の後、各種情報収集方法やプレゼンテーション、レポート執筆方法の学習など、基礎的な手法を一通り練習します。

3 年次前期は、研究方法や分析手法の本を輪読を行います。一つ上の代は江崎（2020）『分析者のためのデータ解釈学入門』ソシムを読んでいます、別の本にしたり、Excel や R など統計ソフトの使い方などにするかもしれません。

輪読以外に、社会に向けた発信もこの時期に試みます。年によって、ブログにしたり SNS にしたりとメディアは異なりますが、教員の評価だけでなく、市場（しじょう）の評価を受けて自分の文章や表現を修正し、編集の仕方を学ぶトレーニングです。自分の関心のあること、好きなことに取り組むということと、市場評価との折り合いをつけていくことのバランスについて学びます。

3 年次後期は、グループワークでのプロジェクトを行います。プラットフォーム・ビジネスを何かとりあげ、そのビジネスの現状を分析したり、戦略提案をしたりといった内容を予定しています。結果は、12 月のゼミ成果発表会でのプレゼンテーションを行い、学期末までにレポートにまとめます。これまではキャッシュレス決済や共通ポイント（楽天ポイント等）市場、蔦屋書店の店舗設計などを取り上げてきました。今のところの候補はメルカリや Netflix ですが、何を取り上げるかは皆さんと相談しながらなろうかと思います。

4 年次は各自の関心に従い、卒業論文の執筆となります。4 年前期はテーマや問いの設定を試行錯誤するとともに、各自で何らかの本を 1 冊（あるいはそれに相当する量の文献を）読んで、まとめま

す。就職活動の時期ですので、一部オンデマンドを組み合わせたいと考えています。4 年後期は各自調査を行ったり、卒業論文を執筆します。

3 回のプロジェクト（2 年後期、3 年後期、4 年卒論）を通じて、企業分析の手法、とりわけ、雑誌記事や新聞記事、統計データなど公開されているデータの収集方法、読解と解釈、まとめ方などを中心に指導します。このような方針にするのは、ある程度覚えるべきことが決まってい誰でもできるという意味で学校教育向きであるということと、皆が同じ情報を原理的には入手できるからこそ、そこから何を言えるのか、どう解釈してどうまとめなおすのかというところで純粋にその人の提案する価値が表れるのがおもしろいところかと思います。

（4） 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

演習Ⅰ（2 年生）ではグループでレポート 1 回ないし 2 回程度書いてもらう予定です。3 年次も輪読のレジュメや、プロジェクトのレポート作成など、絶えず何かしらの文章を日常的に書いたり直したりすることになります。4 年次は個人で卒業論文プロジェクトを 1 人で遂行します。文章を書くのが嫌いな人には明確に向いていないと思います。

（5） 先輩たちの主な就職先と傾向

2022 年春卒業の 1 期生は、住宅、インテリア、社労士事務所、BtoB メーカー、IT 系などいろいろでした。学年によってだいぶ雰囲気が違いますので、この先も割といろいろだと思います。

（6） 教員について(自己紹介等)

1984 年兵庫県神戸市生まれ。2007 年一橋大学商学部卒業，2013 年一橋大学大学院博士後期課程修了，博士（商学）。一橋大学イノベーション研究センター特任助手，東北学院大学経営学部准教授を経て，2020 年度より現職。本学では「経営入門」「経営組織」「製品戦略」を担当しています。ゼミ生の関心に応じて戦略論・組織論・イノベーション論あたりのトピックには対応可能です。

（7） その他

- 原則毎週ノート PC を持参してください。ウェブブラウザと Office をフル機能で使えるものが望ましいです（Win 推奨、Mac は OK ですが、Chromebook や iPad は非推奨）。
- 合宿やみんなでの調査、学外イベントへの参加等は予定していません。
- 懇親会も当面予定していませんが、各代の雰囲気をしながら、少人数でご飯を食べたり、卒パやろうかなどとその都度提案をしています。
- 本ゼミは学年別を実施し、学年を越えた交流は少ない予定です。1 コマ 90 分で終えます。なるべく普通の授業のように運営します。
- 毎回の出席が厳格に求められますし、課題の要求水準はイージーではありません。ちゃんと締め切りを守り、毎週自律的に取り組める人を求めます。普段の授業で課題の出し忘れや遅刻をする人は明確に本ゼミに向いていません。
- 選考に際しては、取得総単位数と累積 GPA を確認します。
- この募集要項は 2 枚以内とのことですので、続きは web で！→ <https://odahajime.jp/>

金子 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
○	○			

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	財務会計（現在履修中であることが望ましいが、経済学科の方や抽選漏れ等の理由で受講できなかった場合は入ゼミ後に受講可）	
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B		

3 年男	6 人	3 年女	8 人	4 年男	8 人	4 年女	1 人
------	-----	------	-----	------	-----	------	-----

(1) テーマ

会計の視点から企業・自治体・NPO の経営を学ぶ

(2) キーワード

読書、財務会計、公会計、Fintech、B to B、B to C、経営分析、卒業論文

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

ゼミは、新聞、本や雑誌をたくさん読みます。インターネット以外から多くの情報を得る技術を身につけます。会計は経済や経営と密接にかかわります。同級生・先輩や後輩と話し合うことで内容に対する理解を深め、自分の考えを持ち、的確に表現できるようになります。

2 年生はまず、企業の財務諸表や最近のニュースを事前に調査し、レポート作成や討論をします（2022 年夏は、合宿は実施しない予定）。10 月には、ビジネス会計検定 3 級以上を受験します。2 年後期・スプセは、様々な新聞・雑誌記事や有価証券報告書を参照してグループで企業を分析し、プレゼンを行います。11 月には、日商簿記検定 3 級以上を受験します。他のゼミとの合同ゼミも予定しています。授業では、ゼミの学習につながる「公会計」の授業を受講します。

授業で知識をインプット→ゼミでは読書等を通じてさらに知識を深める→プレゼン等を通じて発信力を高める という流れです。ゼミと授業の両輪で成り立っています。

3 年生では、読書や財務諸表の分析、他ゼミとの合同の討論等を通じて理解を深めます。後期には、プレゼン大会等へ参加するための学習を行います。他大学の学生との交流等も含めて貴重な体験ができますし、就職活動にも役立ちます。このほか、「のびのび経済」にグループ論文を投稿します。授業は、前期には「応用財務会計」を、後期には「国際会計」「企業監査」を受講していただきます。

4 年生では、より専門的な書籍や論文を読み、各自で卒業論文をまとめていきます。また 2・3 年生への指導や合同ゼミ・ディベートも行います。

2 年半を通じて、「私はこれをしてきた」と自信をもって言えるような、貴重な体験ができるゼミにしていきたいです。皆さんの負担を軽くすることを心がけ、ゼミは学年ごと、週 1 コマです。ただしゼミへの事前準備には毎週 2～5 時間程度はかかりますし、大会や論文の締切前にはゼミが延長さ

れることもあります。しかし、そのくらい学習して「勉強した、身についた」ということができます。また、ゼミでは皆さんが発表・話し合いするのが中心で、他の授業とは進め方や方針が異なります。

ゼミでは、ビジネス会計検定3級以上と日商簿記検定3級以上の合格が必須です。授業時間外に本や新聞・雑誌記事をたくさん読みますので、アルバイトで十分な学習時間を確保できない方は、入ゼミをお勧めしません。

公認会計士試験や公務員試験を受験する方は、しっかり学習して進捗度を報告いただくことを条件として、ゼミの課題を軽減しています。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

3年後期の「のびのび経済」や、プレゼン大会でも15000字前後のグループ論文を書きます。本をよく読む方や文章を書くのが嫌いでない方は難なくこなしますが、そうでない方には、大いに努力が必要です。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

先輩たちの就職状況は、良好です。先輩や企業人事の方にも、ゼミの内容を評価していただいています。平成29年度の卒業生では東京都特別区へ3名就職し、これまでも県庁・市役所等の公務員を数多く輩出しています。税理士事務所に勤務する人もいます。最近、メーカーの営業や経理も増えています。ゼミでは、就職した先輩や会社の方を招いたりする機会も多く設けています。

(6) 教員について(自己紹介等)

1年次はオンラインの講義が多く、教員や他の学生、先輩と会う機会が限られているため、ゼミ選択にあたって不安なことがたくさんあるかと思います。ブログ 良太の部屋 <http://blog.livedoor.jp/kanekosemi/> では適宜情報を更新していきますので、よく参照してください。個別の質問については rkaneko@kokugakuin.ac.jp までお気軽にどうぞ。また、若木タワー10階1004研究室にて対面での質問も受け付けております。

(7) その他

財務会計だけでなく政府や非営利組織の会計も学習します。公務員志望者も歓迎です。飲み会は最低限ですが、新歓・OBOG会・追いコンはあります（新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催されない可能性もあります）。いずれもとても貴重な経験であり、全員出席です。ゼミに向くのは ①読書が好きな人②成績が良い人（1年のGPA3.1以上）③数学・英語等の基礎学力がしっかりしている人（本を読んだり各種分析を行うため）④通常の授業が物足りなくて、大変でも充実した内容を求める人 ⑤自らの考えを発表する学習がむりなく楽しくできる人です。なお、経済学科の学生はゼミに応募はできますが2年次に会計の授業が受講できないこと、3年次のコース選択等で経営学科の学生に比べると制限があります。ご心配な方は、教員あてに必ず事前にご相談ください。

ゼミの選考（筆記課題+面接）の倍率はここ3年1.0～1.2倍程度です（第2次選考は、昨年度はありました）。面接では、会計に関する基本的な知識を問うほか、皆さんの学習意欲や今後の学習計画を、提出された課題（共通課題+教員が個別に設定した課題）等に基づいて15分程度（教員と応募者との1対1の面接です）。皆さんの応募をお待ちしています。



高木 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	経済理論入門	経済経営数学入門
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	統計入門	

3年（男）	2人	3年（女）	1人	4年（男）	7人	4年（女）	4人
-------	----	-------	----	-------	----	-------	----

(1) テーマ

日本とアメリカのデータを使ってマクロ経済学の基礎理論がどこまで有効か確認する

(2) キーワード

マクロ経済学 パソコン 統計分析

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2年生

教科書：N・クレゴリー・マンキュー：『マンキュー入門経済学』、東洋経済新報社

ノートパソコンを全員に所有してもらいます。特に研究室では複数のゼミ員が同時にノートパソコンで作業することがあります。その作業結果をネットワーク上で共有し、修正作業を継続する必要があるため、合格後、ノートパソコンを新たに購入する場合選定相談を受けます。また、希望者にはノートパソコン利用法と基本ソフトウェア、ネットワーク環境設定を研究室で確認します。

夏休み中に数学準備として「経済経営数学入門」の講義ノート No. 1～10 を復習してもらいます。

後期開始後は、経済理論の入門教科書の内容を、報告者がスライドと口頭報告用の原稿を用意して報告します。スライドには、教科書で利用されている図表を、見た目をお絵かきで再現するのではなく、理論的な説明に沿って数式化し、表計算ソフトを用いたグラフや表で再現します。章末の問題は報告時間の余りの範囲で報告者以外に解いてもらいます。

演習Ⅰ以外に、3年次の理論分析の準備のために「ビジネスリサーチ」・「データ分析Ⅰ」を履修する必要がありますが、「統計入門」が前提科目であり、まだ履修していない人は「統計入門」を先ず履修する必要があります。「統計入門」・「ビジネスリサーチ」・「データ分析Ⅰ」は卒業までに必ず履修してください。

3年生

教科書(予定)：R・J・ゴードン：『現代マクロエコノミクス』原著第6版上下：多賀出版

中級のマクロ経済学理論の教科書の内容を、ある章の分析と次の章の報告を平行しておこないます。

「分析」は報告された章に掲載されている、アメリカ経済の 1980 年代までのデータを使ったグラフを、最新の日米のデータを用いて再現したグラフと比較し、教科書の理論的な説明がどこまで当てはまるか確認するものです。

データを用いた検証はグラフの再現を超えてどこまでできるか、ゼミ生単独では範囲を設定できない場合が多く、前の週に報告された教科書の理論をどのような手法を組み合わせるかを細かく指導します。内容報告は 2 年次に習得した報告手順により実施します。

演習 2 以外では「統計入門」・「ビジネスリサーチ」・「データ分析 I」で取り残しているものの単位を取得してください。

4 年生

毎週担当者を 1 名決めて 3 年生の分析内容を批判・評価します。批判・評価は単なる文言の修正でなく、「データ分析 I」の知識を用いて新旧グラフの比較を超えた分析の可能性を指摘します。残りの 4 年生は当日までに担当者に章末問題を絡めたポイントを提示し、問題意識を共有します。3 年次のテキストが終わっていないければ続きを行う場合があります。

卒業論文は、3 年時の演習で行った分析の中から各自でテーマを設定します。テキストの記述から、対象範囲を広げたり、理論をより精緻化したりして掘り下げ、「データ分析 I」の手法を用いて結論を導くことを重視します。独自のアイデアや論考がなくとも、学んだ手法が駆使されていれば高く評価します。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

特にありません。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

金融・商社など一般的な事務系職種に就職していますが、IT 系への就職も目立ちます。

(6) 教員について（自己紹介等）

日本経済全体の消費行動の理論構築と計量経済分析が研究テーマです。経済状況の変化に影響を受けて生じる、耐久消費財支出時期の理論的最適からの遅れをモデル化・検証しています。

性格は大まかで、論文に求められる緻密さは数学に依存しています。理論モデルを飽きずに延々とひねくり回したり、結果が中々出ないデータ分析をしつこく続けたりするのは大好きですが、ゼミ生の指導で細かいミスをはじくり返したり怒り続けたりする根気はありません。

(7) こんな学生に来てほしい

ミクロ・マクロ経済理論、モデル構築に必要な数学、データ分析の手法と学ばなければならない範囲は広いですが、理論の基礎から学び直すので、改めてゼミからスタートしたい人でも大丈夫です。が、ゼミの準備に時間をかけないと達成水準は低くなるので、学ぶ意欲はしっかりと持って来てください。

単位の有無にかかわらず経済経営数学入門水準の数学と、統計入門水準の Excel 操作能力は必要です。

高橋克秀 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	経済統計の見方
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	経済理論入門

3 年男	10 人	3 年女	1 人	4 年男	5 人	4 年女	人
------	------	------	-----	------	-----	------	---

(1) テーマ

データ分析の基礎

(2) キーワード

ビッグデータ クラスタ 統計学 計量経済学 統計検定

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

毎回担当者を決めてパワーポイントで発表する。個人のパソコンは必須。統計学検定の取得を勧めている。2 級合格者は就活市場で引く手あまたとなる。毎年 2 名ほど合格している。合宿はやらない予定。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

毎年 12 月に行われる経済学部懸賞論文に必ず応募することを奨励している。統計学検定 3 級、2 級の勉強を奨励している（ゼミでも練習問題を解く）

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

最近企業情報調査、IT、金融機関が多い。有名なところではソニー、みずほ銀行、帝国データバンクなど。

(6) 教員について(自己紹介等)

新聞記者→エコノミスト→教員 世界遺産歩きが趣味

(7) こんな学生に来てほしい

正当な理由なく欠席する学生は困ります。90%以上出席できるかどうかよく考えてから応募してください。このゼミでは統計学の基礎を学んだうえで、現実の経済・経営問題、社会問題（最近はスポーツや健康・医療の統計分析も）を数値的に解析します。テーマは自由です。芸術に関するテーマも歓迎しますが、アニメとゲームは範囲外です。春休み、夏休みは軽い課題が出ます。卒論（ゼミ論）は必須です。 といえ、2 年生の間は易しいところから始めるので心配ありません。数学は得意である必要はありませんが、経済経営数学入門レベルは前提とします。

野村ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	情報化社会と市民(共通教育シテ ィズンシップ科目)
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	

3 年男	13 人	3 年女	4 人	4 年男	9 人	4 年女	3 人
------	------	------	-----	------	-----	------	-----

1. テーマ

フェムテックと女子経済

(2) キーワード

フェムテック、女子経済、コミュニケーション・デザイン、デザイン思考、インクルーシブデザイン

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

野村ゼミでは毎期ごとに新しいテーマを設定しています。これまでは「メディア・アクセシビリティ」「感情経済」「トランスメディア」「ナッジ」「情報デザイン」「情報経済」「知の理論」「論文の卵の産み方」などについてメディア制作を通じてチーム単位で研鑽してきました。毎年、なんらかの成果物を制作しています。今回は、フェムテックが女子経済に及ぼす影響について考えます。フェムテックとは女性特有の悩みに対して技術的に解決しようとする一連の試みのことです。それに対して女子経済とは女性が自分自身のために消費したり生産したりする活動全体のことです。潜在的な市場規模は大きいと思いますが、まだ状況は混沌としています。演習 1 では手始めにテーマ地図を作成します。ヒントはこちらに。 https://www.socius.schule/2022/01/blog-post_20.html

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

テーマ地図は印刷製本するところまでやりますので、そのために必要な原稿を分担して執筆します。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

意外に経済学部標準です。2 年生にもわかる企業名を挙げると。金融系：みずほ銀行、三井住友信託銀行、東京三菱 UFJ 銀行、大和証券、日興証券、千葉銀行、沖縄銀行、ゆうちょ。交通系：JR 東日本、全日空（地上）、近畿日本ツーリスト。製造業：IHI（石川島播磨重工業）。公務員：航空自衛隊（管制官）、地方自治体。郵政。不動産：東急リパブル。IT 系：電通国際情報サービス、ソフトバンク本部、LINE@、NEC 系、キャノン系。メディア系：九州電通、モリサワ、共同印刷、新潟放送、福島民報新聞、北國新聞、デイリースポーツ、チ

ケットぴあ、メトロアドエイジェンシー、東北新社、制作プロダクション。教職：神奈川県立高校情報科教員（大学院経由）、東京都公立中学校美術科教員（美大編入して大学院経由）

(6) 教員について(自己紹介等)

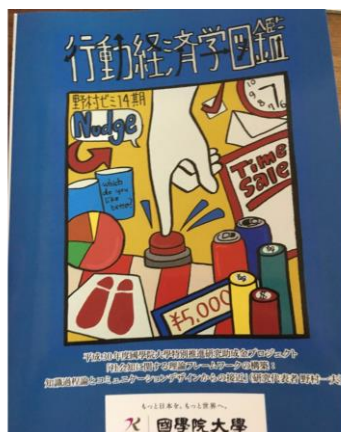
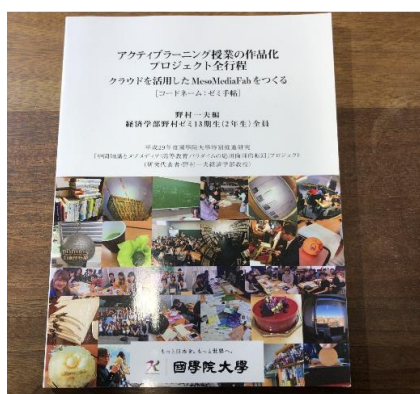
実務経験について。私はもともと社会学者でメディア論と社会理論を研究してきましたが、1995年8月から「ソキウス」という社会学専門サイトを立ち上げ、本にして千ページ程度の発信を開始。1997年にはクレジット決済による一括ダウンロードも実施。『インターネット市民スタイル』という案内書も1997年に出版。1999年から法政大学大原社会問題研究所の公式サイトを担当。10年間、デジタルアーカイブなどのサイト構築に従事。2000年から1年半、日本初のオンライン書店「ビーケーワン」の人文部門の社外編集者。本学では2001年以降、インターネットに関する共同研究を続けてきました。特定の技術にはこだわらず、使えるものは貪欲に吸収する主義です。

主な著書について。単著『ゼミ入門』『子犬に語る社会学』『インフォアーツ論』『未熟者の天下』『インターネット市民スタイル』『社会学の作法・初級編』『リフレクション』『社会学感覚』共著『健康論の誘惑』『文化現象としての癒し』など。

その他、研究活動については、個人サイト「ソキウス」を見て下さい。<https://www.socius.schule>

(7) その他

ネット系なのでスピードと量とリスポンスが大事。令和2年度のゼミの成果は<https://transmedia.tokyo.jp>に集約してあります。令和3年度は冊子3冊。これはゼミブースで閲覧できます。野村ゼミ総会として一昨年度のまとめを8時間ラジオマラソンとしてYouTubeライブでおこないました。録画はここにあります。<https://youtu.be/1VPysG9wpCM>



橋元 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
○	○	○	○	○

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	現代日本経済
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	

3 年男	6 人	3 年女	3 人	4 年男	4 人	4 年女	0 人
------	-----	------	-----	------	-----	------	-----

- (1) テーマ 日本経済の構造と企業経営および雇用の特徴
- (2) キーワード 日本経済・企業経営・雇用を学ぶ、学年合同で学び合う、自分の意見を持つ
- (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2 年次の夏合宿(演習Ⅰサマセ)から始まり、4 年次演習Ⅲ(卒業論文) B までの演習(ゼミ)関連科目 20 単位すべてを履修するゼミです。夏合宿と後期ゼミは 2～4 年生合同であり、春合宿と前期ゼミは 3～4 年生合同です。授業期間中のゼミは 2 コマまたは 3 コマ連続です。月曜 4 限～6 限に参加できない人は応募できません。 また、2024 年度で定年退職となるので、今年度の募集学年が最後となります。したがって、後輩ゼミ生はいないことに留意してください。

ゼミの全体概要は、以下の通りです。

- ①日本経済関連の文献を輪読(分担してレジュメを作成・発表、全員で論点を議論)

教科書はゼミ生の希望を踏まえつつ決めるが、2 年次は初歩的入門的文献、3 年次前期は基礎的文献、3 年次後期から 4 年次は基本的文献を教材としている。先輩が後輩の報告準備や発表をサポートし、教え教えられる関係の中で学び合う。

- ②ディベートやディスカッションを行う。

日本経済をめぐるテーマばかりでなく、身近な問題から時事問題など様々なテーマを取り上げ、輪読と並行してディベートまたはディスカッションを行う。これらを通じて、論理的思考力やプレゼンテーション能力、表現力を鍛え、また就職活動にも有用な能力を身につける。

- ③3 年次には 12 月のゼミ成果発表会に取り組む。

日本経済に関する具体的テーマを自分たちで決めゼミで研究し、その成果を発表

- ④ゼミ卒業論文を作成する。

2 年次春合宿から合宿のたびに中間報告を行い、4 年次 11 月に一次提出し 1 月上旬に最終提出する。ゼミでの集団的な検討や橋元による個別指導を継続的に受け完成させていく。

⑤ゼミ生で話し合い企画して各種イベントを実施する。

例年行っているのは、新歓コンパ、前期終了後の暑気払い(コンパ)、OB・OGによる面接指導会(模擬面接)、OB・OG 懇親会、追い出しコンパである。他に、工場見学、忘年会、新年会、ボーリング大会などのスポーツ・レクリエーション、ゼミ後の飲み会等、年度によって様々であり、ゼミ生で話し合って決める。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など) なし

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

金融(三菱UFJ、みずほ、城南信金等)、情報サービス(SCSK、富士通 Japan 等)、メーカー(LIXIL 等)、不動産(イオンモール等)、広告(電通等)、公務員、教員など、様々な分野へ就職しています。

(6) 教員について(自己紹介等)

1955 年鹿児島県生まれ。横浜国立大学経済学部、東京大学大学院経済学研究科で学ぶ。(財)労働科学研究所を経て、92 年から國學院大學経済学部教員、99 年より教授。担当科目は、「現代日本経済」、「日本経済と政策」、「雇用と働き方」、「キャリア開発」など。専門分野は、労働市場、人事労務管理や労使関係の実態調査に基づく日本経済分析。全国各地の自治体や経済団体および企業・労働組合のインタビュー調査やアンケート調査を行ってきました。

学生諸君には、大学で自分らしさを探求し、自分らしく生きていくために必要な知恵を身につけてほしいと願っています。ゼミはそのための絶好の場。私もゼミ生と一緒に頑張って誠実で真剣なぶつかりあいをしていきたいと思っています。酒は弱く、無趣味人間です。あえて言えば、議論好き。多芸多才にあこがれますが、そのセンスはまるで駄目なので、ゼミ生達にいっぱい教えてもらっています。

(7) その他

ゼミの場にいるだけではダメ！ 自ら能動的に学ぼうとする意欲をもつ者、ゼミで多くを吸収し自分もゼミに貢献しようと努力する者、授業としてのゼミを越えた仲間づくりや交流を大切に思う者を求めます。ゼミは、ゼミ生自身が創り上げるもの。学ぶこと、遊ぶこと、先輩・友人との交流など、いくらでも広く深いものにすることが出来ます。しかも、生涯にわたって続く関係の出発点です。入ゼミ希望者には、2 年半しっかりと学ぼうとする姿勢をもち、ゼミ卒業論文をやり遂げ、意欲的に発言することを期待しています。

月曜 4・5 限にいつでも遠慮なく、ゼミ見学をしてください。自分に合っているかどうか、見学してよく考えて応募してください。

2019 年 8 月入ゼミ新歓



2020 年 3 月春合宿



細井 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	

3 年男	3 人	3 年女	1 人	4 年男	1 人	4 年女	2 人
------	-----	------	-----	------	-----	------	-----

(1) テーマ

「グローバル・エコノミーとビジネス—新興国市場攻略の戦略」

国際経済と国際経営の分野で各自が関心をもっているテーマを個人で深めていくことがこのゼミのスタイルです。現 3・4 年生はアフリカやラテンアメリカ経済、ダイバーシティ経営、移民、自動車産業といった関心領域を各自もっています。

(2) キーワード

国際経済 途上国経済 国際経営

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2 年後期は統一テキスト(英語文献)を用いて、3 年以降に備え基礎知識の定着、読書習慣の確立、文献の探し方などアカデミック・スキルの涵養を図ります

2 年と 3 年の間の春休み(3 月下旬)に春合宿を行い、3 年以降のゼミ活動の基礎を作ります(スプセの形ではない)。3 年以降のゼミについては学年合同 2 時間連続となり、自分たちで進め方を決めてもらい、個人のテーマも自分で設定することになります。ゆえに「与えられた」課題をきちんとこなすこと「だけ」が得意な人は向いていないと思います。参考までに今年前期の場合は、1 時間を卒論に向け各自が関心をもっている分野についての専門書を読んだ上で報告・討論を行い(3 年前期はリーディング・アサイメントに従って進める)、もう 1 時間でビジネス・ケース討論を行っています。

夏休みにはゼミ合宿を行います。後期は両学年共に卒論に向けた報告が中心になります。そして、4 年の終わりには卒論を書き上げます。

なお、夏合宿は国外で実施します(3 年と 4 年の 2 回)。現地では関係機関、企業、援助団体など訪問・視察を行います。机上の勉強だけではなく、実際に経済・経営の現場を自分の肌で実感する貴重な機会です。今夏も、企業の出張渡航が正常化しないため無理そうです(直近は 2018 年ホー・チ・ミン、2019 年デリー)。2023 年夏以降はぜひとも実施したいです。現地での企業訪問は貴重な経験になります。手配等はすべて自分たちで行っていただきます。コロナで行けない年が 3 年続いてすぐ上の人に経験を聞くことができず、ビジネスマナーを体得し自ら開拓する気構えが必要です。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など)

3 年終了時に 10,000 字程度の 3 年次論文を提出してもらいます。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

就職率 100%を初代から継続中です。業界は様々。珍しい就職先としては、政令市中学校の社会科教員(経済学部では十年に 1 人レベルの現役合格)や、一般企業就職後に公認会計士の資格を取得して 4 大監査法人に転職した OB がいます。好況時には他の陽キャばかりのとあるゼミのように目立ちませんが、不況時にも安定・確実に就職を決めています。日々のゼミに対する姿勢が結果につながります。

また、毎年秋に OB 会があり色々な話を聞くことができるとともに(OB 会だけでなく随時、顔を出してくれたりします)、タテのつながりも強めています。卒業後も OB 会があり、現役ゼミ生のサポート、また学年を超えて交流があり、「大人のゼミ合宿」をしたりしている代もあります。こういうことが嫌いならば、他のゼミに行った方がいいでしょう。

(6) 教員について(自己紹介等)

2006 年に着任、担当する授業科目としては「世界経済入門」、「国際経済」、「国際経営」などです。

(7) その他

- ・日本でも星野リゾートのように喫煙者の採用をしない企業が増えてきています。こうした状況に鑑み、選考の際、喫煙者のプライオリティは最下位にします(なお、2010 年にこの方針を打ち出して以降、これまで喫煙者でこのゼミに合格した人はいないことを申し添えます)。

- ・卒業までに「国際経済」、「国際経営」の単位は必ず取ってもらいます。両科目を取れない場合、ゼミをクビになります。また、卒業までの 2 年半を継続して取り組めることも条件とします。OB 会でゼミ OB が「ゼミ程度のことをきちんとやれない(継続できない)ような人が社会(会社)に出てきちんとやっていけない」とよく言っています。着任して 10 年以上たち、ようやく途中で辞める人が出なくなってきました。また、他ゼミで行うようなゼミ合宿ではない形の合宿が 3 年と 4 年夏の 2 回あります。その点も承知してください。

- ・海外への企業訪問について、現役ゼミ生はコロナのために一度も行くことができていません。ゼミ生に話を聞いても分からないとしかいえません。2023 年夏から復活予定ですので、詳細を聞きたい場合は、直接聞きに来てください。映像等を用いてこれまでの経験を説明します。(前期は火曜と木曜は確実に大学にいます)

- ・個人テーマの設定は自由ですが、それに取り組むにあたっての基礎は重視しています。筋トレをしっかりやります。つまらないかもしれませんが、スポーツ選手で筋トレを疎かにする人はいないですよ。基礎演習のようにグループワークで上辺だけの「勉強ごっこ」をするスタイルではないので、そういうスタイルを好む場合はこのゼミには向きません。しかし、しっかり取り組むと自分自身が何倍も成長して卒業できることは間違いなく、それが不況時でも安定した就活の結果につながります。

- ・提出書類について:1 次選考(第 1 希望)の人は K スマ・アンケート機能の「1 自己紹介、2 志望理由」を書く必要がありません。空白です(空白がエラーになるなら「あ」とだけ入力してください)。K スマでの登録締切前までにメールにてエントリーシート(Excel 形式、A4 で 1 ページ程)を請求し、それを記入して、成績表と合わせて(詳細はエントリーシートに記載しています)K スマ登録締切までにメールで送ってください。2 次選考以降の人は K スマアンケート機能 1 と 2 両方記載のうえ、メールで事前にエントリーシートを請求し、記入した上で成績表と TOEIC 等のスコア表(12 月に全員受験した TOEIC を除く)の合わせて 3 つのファイルを K スマ登録締切時間までにメールで送ってください。このゼミでは英語文献を用いるため、他のゼミに未練がなく意欲が確実なこのゼミを第 1 志望とする人以外には能力の確認の意味でこのやり方を取らせてもらいます。TOEIC や TOEFL 等のスコアをもっていない場合は、英語のセンター試験の点数など何か客観的な指標を出してください。

細谷 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
—	—	—	—	—

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	経済理論入門
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	経済経営数学入門

3 年男	3 人	3 年女	0 人	4 年男	0 人	4 年女	0 人
------	-----	------	-----	------	-----	------	-----

R3 年度に国内派遣研究（学習院大学経済経営研究所）に出ているため、R4 年 4 月現在で 3 年生のみが在籍しています。以前は 1 学年男女半々で 12～13 名程度でした。

(1) テーマ

このゼミではマクロ経済学を中心に幅広く学んでいきますが、なかでも長期にわたる経済問題を対象とした経済成長の理論分析と実証分析に焦点をあてます。加えて、わが国の長期的経済動向に重大な影響を及ぼしてくる社会保障問題についても、計量経済学的なアプローチをまじえながら多角的に取り扱います。マクロ経済学やミクロ経済学を深く学びたい人、統計・計量分析ソフトを用いた実証分析に興味のある人、上級の公務員試験の合格を目指す人、研究者やエコノミストの養成を目的とした高度研究型の大学院への進学を目指す人などに特に向いているゼミだといえます。

(2) キーワード

マクロ経済学、動学マクロ経済学、ミクロ経済学、日本経済論、計量経済学

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

【2 年次】

- 日本経済論、社会保障論、経済統計分析の基礎的なテキストの輪読・精読を通じて、学問内容の理解と合わせて効果的なプレゼンテーションの技法を身に付けます。また、レジュメの作成状況についてもチェックし、質の高い学びを目指します。なお、過年度は、学生にテキストを選択してもらい、日本経済論について幅広く学びました。

【3 年次】

- マクロ経済学の定評ある英文テキストブックについて、1 年をかけて丹念に輪読していきます。この 1 年間の学びがこのゼミの学びの中核部分になります。
- 夏合宿を開催する場合があります。

【4 年次】(令和 4 年度の開講はありませんが、参考として記しておきます)

- 卒業研究に集中的に取り組んでももらいます。経済理論、統計的手法を用いたものならば、テーマは基本的に自由です。

- 夏合宿を開催する場合があります。

(4) 演習Ⅳ以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

チーム分けをして、具体的なテーマについて調査・研究し、プレゼンを行ってもらう可能性があります。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

平成 29 年度着任のため、平成 31 年 3 月にはじめて卒業生を送り出しました。國學院での卒業生はまだ 4 期です（多くの人が民間企業に進んでいます）。

前任校（東北学院大学）では、公務員（国家公務員、地方公務員等）、民間企業（メーカー、金融機関、商社等）、高校教員、国立の研究型大学院進学とさまざま。比較的公務員が多いのが特徴でしたが、そのための対策等をゼミで行ったことはありませんでした。闘魂注入のみ。

(6) 教員について(自己紹介等)

岩手県出身。博士（経済学，一橋大学，平成 15 年 3 月）。岩手→仙台→東京（国立）→仙台とわたり歩き，平成 29 年春から國學院に赴任しました。主専攻は動学マクロ経済学，副専攻は公共経済学（医療経済学，教育経済学等）です。理論だけでなく計量分析も行います。最近は COVID-19 に関する研究に特に注力しています。執筆した論文や書籍を知りたい方は，インターネットで氏名を検索するとすぐにいろいろ見つかると思います（元プロ野球選手の方に迷い込まないように（笑））。

好きなこと（もの）は，自動車の物色や運転，オフロード車のラジコン作り・操作，昔の TV ドラマ，じゃじゃ麺店・ラーメン店・蕎麦店・居酒屋めぐり，小旅行，古書蒐集，ビール（大衆的なものから比較的珍しいものまで）等。スポーツは何でも好きですが最近は全くです。減量目的でよく歩いていますし（並木橋～代官山～恵比寿～渋谷橋～大学のコースが定番），筋トレもやっていますが効果は明瞭ではありません。

(7) その他

- 良識ある善良な市民の育成（自分もそのようになりたいです）。
- 胆力の備わった人間の育成（自分もそのようになりたいです）。
- 少し難しいかなというくらいの高い目標を掲げて努力を惜しまない人を応援します。
- 学年横断的で一体感をもったゼミを目指しています。
- 夏合宿やコンパなどはゼミ生と相談して決めます（コロナ禍なので慎重に判断します）。
- これまでの夏合宿は逗子・葉山や伊東方面など。
- コンパは負担にならない程度に開催していました。
- 卒業生との食事会なども行っていました。

山本 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	地域と都市の経済
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	

3 年男	8 人	3 年女	1 人	4 年男	3 人	4 年女	2 人
------	-----	------	-----	------	-----	------	-----

(1) テーマ

経済活動を「地域」という空間的枠組みの中で考える。

(2) キーワード

経済地理学, フィールドワーク, 地域

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

論文の輪読による基礎的な思考法や手法の習得と, 個人テーマに沿ったフィールドワークと報告書の作成を想定しています。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

2 年次に論文踏査を始め, 3 年次には当該分野の研究動向についてレビュー報告（2000~4000 字程度）を作成する。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

鉄道, 建材, アパレル, 保険会社, 不動産関係など。対面接触のほか, 輸送関係や地方を好む傾向があります。テレビ番組制作, ゲーム制作等, クリエイティブ系に就職したものもいます。

(6) 教員について(自己紹介等)

山本健太 検 索

(7) その他

ゼミとは, 単に勉強するところではなく, 社会関係も学ぶ場であると考えています。このゼミに入るということは, 私に弟子入りすることだと思ってください。

バイト，部活，サークルはゼミ欠席理由として認められません。ゼミでの活動を最優先事項として，他のゼミ生と協調し，積極的に参加してください。

『令和4年（2022年）度開講「演習Ⅰ」（ゼミ）募集要項』

國學院大學 経済学部教務委員会

WEBでもCHECK!

國學院大學経済学部

検索

